

より良い校舎改築へ ワークショップ開催

平泉中学校の改築に向け、生徒と教師、PTAを対象としたワークショップが10月5日、同校で始まりました。

昼に生徒と教師、夜にPTAや改築検討委員会委員らを対象に開催。このうち生徒と教師のワークショップでは、参加した生徒代表8人と教師15人が田代久美宮城大助教に指導を受けながら、校舎内で自分たちにとって大切な空間を把握しました。今後は11月中まで3回開くワークショップで意見をまとめ、改築に反映させていきます。



稲刈り体験で幕 「ライスアート」

「ライスアートinひらいずみ稲刈り体験（農事組合法人アグリ平泉主催）が10月24日、高館橋東側の大区画ほ場で行われました。

長島小学校児童と町民、関係者ら約200人が参加。「平泉」の文字とロゴマークの図案に沿って植えた古代米「紫稲」、周辺に残った加工米「どんびしゃり」をかまで刈り取り、収穫の秋を満喫していました。



成功の秘訣を学ぶ 農家民泊で講演会

町が進める（農家）民泊推進プロジェクト事業の講演会が10月5日、平泉商工会館で開かれました。

約60人が出席。NPO法人遠野山・里・暮らしネットワークマネージャーの菊池新一さんが「民泊成功の舞台裏」と題して講演しました。菊池さんは遠野市での実践事例、農家民泊の需要と成功の秘訣などについて説明しながら「地元をどれだけ好きになれるかが大事。平泉の魅力を理解し、独創的な農家民泊に取り組んでほしい」と呼び掛けました。



力合わせて災害防ぐ 11区自主防災会発足

「平泉町第11区自主防災会」が10月10日、11区住民によって立ち上げられました。町内での同組織結成は16組織目となりました。

同日、11区公民館で開かれた結成総会には、住民と消防関係者、合わせて50人余りが出席しました。会長に結成準備委員長を務めた三浦儉市さんを選出し、同準備委員会が作成した規約や組織編成、活動計画、予算などを原案通り可決しました。



高齢者を事故から守ろう！ 母の会連合会が署名を提出

町交通安全母の会連合会（千葉千代子会長）は10月21日、町民3848人が署名した「高齢者を交通事故から守る交通安全誓約書」を町に提出しました。

誓約書では、高齢者と一般運転者等が遵守する事項としてそれぞれ「夜光反射材を着用する」「思いやり運転に努める」などを誓っています。



職場全体で交通安全を誓う JAいわて南が署名を提出

JAいわて南は10月13日、平泉町内に勤務する職員36人が署名した交通安全誓約書を、町交通安全対策協議会に提出しました。

職員一人ひとりが「絶対に飲酒運転しません」などと直筆で誓約。安全意識を高め、交通問題に職場全体で取り組むことが誓われました。



収穫の喜びを味わう 平泉小で稲刈り体験

長島小が10月2日、平泉小が13日に、それぞれの学習田で稲刈り体験学習を行いました。

このうち平泉小では、4、5年生約100人が稲刈りを体験。自分たちが春に植えた苗の成長を確かめるように、慣れない手付きながらも次々と稲を刈り取り、収穫の喜びを肌で感じていました。



演芸や模擬店で盛大に 黄金荘で恒例の黄金祭

今年で17回目を迎えた黄金荘（得田和明施設長）の黄金祭が10月18日、同荘で開催されました。

会場には、利用者たちが丹精込めて作った野菜や手芸品などの即売コーナーなどが設けられたほか、ステージでは町内外の団体が次々に演芸を披露。詰め掛けた大勢の観客をにぎわせました。